就農3年目 白・黄・赤のタマネギ

試行重ね品質向上目指す

藤田 哲司さん・浜松市

タマネギの苗を植え付ける藤田さん

【静岡支局】「浜松のタマネギのおいしさに感動し、就農しました」と話すのは、浜松市西区篠原町でタマネギ1㌶とサツマイモ20㌃を栽培する藤田哲司さん(46)。新規就農して今年で3年目で、現在、タマネギは時期によって白・黄・赤の3種類を収穫している。試行を重ねながら品質の向上を目指す。

より安全でおいしいタマネギを食べてもらいたいという思いから、農薬と化学肥料を抑えて栽培している。作業の効率化も重要視しており、小型無人機（ドローン）の活用を見据え、民間資格を取得した。

さらに近年多発する突然の豪雨などによる災害に備え、さまざまなリスクに対応できる収入保険への加入を決めた。

「篠原でタマネギの栽培が始まり百十余年がたちますが、伝統の栽培方法を守りながら後世にも受け継いでいきたいですね」と藤田さん。「篠原のタマネギを全国の皆さんに知っていただくため、自分がその一役を担いたいと思っています」と話している。

（中村、早澤）